



ドクターごとうの熱血訪問クリニック

ふれあい通信

第38号
10年2月

ご機嫌いかがですか？五島朋幸です。

東京ではようやく春の日差しを感じるようになりました。冬が苦手な僕としては三月の声を聞くだけで「ほっ」としてしまいます。何だったら二月を20日くらいにして三月を40日くらいにしてもらったら気が楽になるのではと思うほどです。一年で辻褄が合うようにして。こういう「物は考えよう」ということってありますよね。

個人的にはもう一つ変えた方が良くないと思うものがあります。人口の高齢化率は「65歳以上人口」で調査します。皆さんの地域でもよく聞く言葉だと思えます。でも、現代日本で65歳の方に「高齢」という言葉があまりにもしっくりきません。いっそ70歳くらいに引き上げてしまえば一瞬にして日本の高齢化率は下がるのに。「物は考えよう」です。

さて、先日は管理栄養士の江頭さんが遊びに来てく

れました。年下なのですが、キャリア、情熱、知識、技術、すべてが揃っているすごい人なんです。今度のチャレンジは、地域で活躍できる管理栄養士を育てることだそうです。僕たち歯科医師も在宅の現場で活躍する人間が少ないのですが、栄養士となるとさらに道が険しいのです。ぜひ、江頭さんとはこれからも刺激し合って日本の社会を動かすような仕事をしたいと思っています。



ふれあい掲示板

皆さんからたくさんのお便りをいただいております

●歯ブラシありがとうございました。毛の部分の大きさは丁度良く、みがき具合も良い感じで、みがいた後、つるつるしている時間が長持ちして、とても気に入りました。ごとう先生は、青森にいらっしゃるとばかり思っており、いつか先生に診て頂きに行こうと考えておりましたら、新宿なんですね。先生みたいな方に診ていただける方たちは、幸せだと思います。
(八戸市・弘子さん)

●主人(78歳。脳溢血で左半身麻痺です。ほとんど寝たきり状態で、要介護度5です。)が、誤嚥性肺炎で入院しています。ムセがあって、食事が口から食べられず、胃ろう手術して、管で直接胃へ入れています。口から食べさせてあげたいと思いますが、ムセたりすると怖くもあるしどちらが良いか迷っています。
(岡山市・文子さん)

番組で紹介したレシピ集



「在宅生活を支える！
これからの新しい嚥下食レシピ」

【著者】江頭文江
(地域栄養ケアPEACH厚木代表)

在宅で食べることに困っている方の
想いと疑問にすべて応えます！
安心して食べるための基礎知識、
みんなが聞きたいQ&A、そして
在宅ならではの調理の裏技も満載！

医療職、介護職、そしてご家族の方にも必読の一冊です。

【出版】三輪書店 【定価】1890円(税込み)
商品コード ISBN978-4-89590-312-7

「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」

- 秋田放送・月～金／5：10(再・月～金／12：20)
- 宮崎放送・月～金／11：20
- 山口放送・月～木／16：40
- 山陽放送・日／8：30
- 新潟放送・月／18：40
- 中国放送・日／7：40
- 長崎放送・日／7：35
- 西日本放送・日／5：45
- 福井放送・日／5：30
- 岐阜放送・日／9：15
- 高知放送・土／7：00
- 山陰放送・土／5：00
- 北陸放送・日／6：25
- 青森放送・日／8：00
- 東北放送・土／10：05

お便りは、お聴きの放送局「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」の係り迄
FAX：03-3402-4494 Mail：goto@p-mar.co.jp

発行元：株式会社メディア・アート・ラッシュ(M.A.R) 〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-19-13 #201 TEL：03-3402-6315 FAX：03-3402-6316

